



国際ロータリー第2800地区 1959年6月9日創立  
鶴岡ロータリークラブ

ここの中を見つめよう 博愛を広げるために

平成23年1月17日(火)  
第2571回 例会  
(本年度第24回)

クラブホームページアドレス◎<http://www.tsuruokarc.org/>

2011-2012年度 国際ロータリー会長 … カルヤン・バネルジー

メールアドレス◎[tsuruoka08@rid2800.jp](mailto:tsuruoka08@rid2800.jp)

本日(1/24)のメインプログラム

鱈汁家族例会

次週(1/31)のメインプログラム

会員スピーチ  
阿蘇 司朗君

## 会長挨拶

青柳孝治

### 1/10の理事会の報告

- ・事務局移転検討委員会の設置に伴い、当クラブから阿部純次氏、嶺岸禮三氏の2名を推薦しました。
- ・寒鱈汁家族例会の参加申込は本日までです。江戸川東から5名、会津若松南から7名が来鶴します。当日の内容等は、親睦委員会と姉妹友好委員会で会場の西川さんと打ち合わせをお願いします。
- ・クリスマス家族例会の収支決算396,088円で理事会で承認されました。
- ・ライラの参加者について、第2ブロックの主管である余目RCよりお願いがあります。
- ・会員事業所の方に、一般お知り合いの方に参加依頼を皆様からも宜しくお願ひ致します。

今日は1月17日、17年前の阪神淡路大震災の日です。朝からテレビ、ラジオで関連ニュース番組が報道されております。合わせて東日本大震災とからめて、報道しておりました。奇しくも117と311で、1の数字がポイントになっております。一週間くらい前だと思いましたが、あるテレビで東日本大震災を予測した学者が報道されておりました。

気象衛星の雲の写真で、震源地となった付近に、何日も流れない、動かない雲がある。いわゆる地震雲だそうです。これは震源付近から出る磁波によるものだということだそうです。前の北海道奥尻島の時もそうでした。

M9程度の地震が、又すぐ起きると予測しておりました。私たちも地震国に住んでおりますので、常に対策は充分に心しておかなければと思います。

### 自ららしい最後のあり方とその備えについて

上野 欣一君

明けましておめでとうございます。遅刻常連の不良会員ですが今年もどうぞよろしくお願い致します。

昭和27年（西暦1952年）の辰年生まれで、はやいもので私もついに還暦を迎えてしました。この世に生を受けて60年間、大病もせず大きな事故にも遭わず生きてこられた事に対して、両親と神様・仏様に心から感謝したいと思います。

辰年の年男スピーチという事で、何をお話ししようかと考えましたが、医療者の端くれとして、常日頃主に高齢者の診療に従事しながら考えている「人間の最期のあり方とその備え」について簡単にお話しさせて頂きます。

高齢者というと一般的には65歳以上の方を言います。65歳以上の人口が総人口に占める割合を「高齢化率」と言います。今の日本は高齢化率23%以上で、いわゆる「超高齢社会」となり、約4人に1人は高齢者という状況に有ります。

この世に生を受けた生き物には必ず死が訪れます。我々人間も同じです。現在は1年間に亡くなる方は約110万人で、高齢者人口が最高に達すると言われる2025年頃には年間約170万人の方が亡くなると推定されています。そして110万人のうち約85%の方は病院で亡くなり、在宅で亡くなる方は約10%でほとんどの方が病院や施設で人生の最後を迎えて



### 出席報告

会員数	40名
出席	22名
出席率	55.00%
前々回確定出席率	74.36%

■ R I 会長 カルヤン・バネルジー ■ 地区ガバナー 細谷伸夫

■ 会長／青柳孝治 ■ 副会長／嶺岸禮三 ■ 幹事／木村 節 ■ 会長エレクト／阿部純次  
■ 会報委員会／阿蘇司朗・阿部純次・嶺岸禮三

事務局：鶴岡市馬場町11-63 鶴岡産業会館3階 TEL(0235)28-3375 FAX(0235)28-3376

いる現状です。ただ病院や施設のベッド数は限られており、これから増える高齢者の最後はなるべく在宅でというのが国の考え方のようですが、終末期の医療難民が出る可能性がない訳ではありません。

この状況を踏まえて、自分の最後のあり方について一度真剣に考えてみて下さい。

勿論、自分で死因を選択する事は出来ません。神のみぞ知る事です。統計上は約3人に1人は「癌」で亡くなると言われています。あの2人は「心疾患」や「脳卒中」、「肺炎」、「不慮の事故」、「自殺」などが原因で亡くなります。

ただ死因は自分では選べませんが、「最後の迎え方やその場所」は叶うかどうかは不明ですが、生前に意思表示する事は可能です。終末期の医療現場では、この「本人の意思表示」が無いか不明な為に、ときに治療方針に大きな混乱と問題を生じています。そして本人には不本意と思われる医療や介護が行われている実態があるようです。

自分の最後のあり方をもう一度真剣に考えて、すべてを医療者任せにしないで自分らしく穏やかな最後を迎えるように、常に健常な意識のもとで家族や友人、第三者（日本尊厳死協会など）などに”文章なり言葉で意思表示”をしておくことを強くお勧め致します。人生の終末期に病院や施設で、点滴や管（人工呼吸器や胃ろうなど）を繋がれながら寝たきりで何年も生きたいですか？回復する見込みの無いままに…。

## 社会は危険であふれている

俣野 秀樹 君

### 事例1

こんな事でも賠償されるの？

子供のチャッチボールで賠償命令が出た事例

2005年2月17日 仙台地方裁判所

※公園内で小学4年生男子2名がキャッチボール→暴投→近くにいた小学5年生の胸に当たり死亡

**賠償命令：**男児2名の両親に連帯して約6000万円（慰謝料など）の支払い命令。

**※裁判官：**「ボールがそれで他人に当たる事が十分予見でき、他人に傷害を与え、さらには死亡に至らせる事があることも予見した」。



### 事例2

アマチュアゴルファーにはたまらない判決

これを見て私はゴルフを断念すべきか悩んだ…

1992年8月21日 横浜地方裁判所

※相模野カントリー倶楽部

ティーグランド右前にはOBがあり、第一打を左方向=隣接する相模コース9番ホール方向に曲げやすいコースレイアウト。

過去にも、数回事故発生し、キャディが負傷している。

※被告Aは、案の定、第一打を左に曲げて、相模コース9番へ→キャディの前頭部に命中。

城山コースと相模コースの間には木が植えられ、被告Aは相模コースを見通す事はできなかった。

被告Aは、相模コース9番を終えて、城山コースに移動しており、相模コース9番が隣接している事を知っていた。

### 【判決文からの抜粋】

※被告Aは、1ラウンドの平均スコア○○前後の技量である。…中略… そこに打球が飛べばプレイヤーやキャディに打球が当たる恐れがあることは容易に知り得たのであるから、○○○○○○○などして、そこに打球が飛ばないようにする義務があるので、漫然と○○○○を過信して、○○○○○をもってティーショットをしたために、本件事故を生じさせたものである。従って、過失による不法行為者として、本事故によって生じた原告（キャディ）の損害を賠償すべき義務がある。



## 委員会報告

### ◎メークアップされた方々

藤川享胤・石田 雄・牧 衛・嶺岸禮三  
菅原 亨・加藤 亨

### スマイル

上野欣一君 年男としてスピーチをさせて頂き、記念品まで頂きました。スマイルさせて頂きます。

青柳孝治君 尊厳死の意思表示カードは知りませんでした。私も準備したいと思います。スポーツの保険はあると思いますが、公園でのキャッチボールでの事故等の保険は有るのでしょうか？考えたいと思っています。個人賠償保険。年男の2人から、大変良い話を聞きました。

阿蘇司朗君 孫がディズニーランドに勤めていますが、そこで詩集文を全国規模として発行させて頂きました。このことが庄内日報に1/4ほどのスペースの中におさめて頂きました。1月14日付

俣野秀樹君 上野先生、すばらしい話ありがとうございました。また本日は、スピーチをお聞き頂き、ありがとうございました。